

2023年度

JA 遠州中央ときめき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月1日（月）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月21日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	<ul style="list-style-type: none">・子ども一人ひとりの個性と成長を温かく見守り受け止める事で、のびのびと自己表現ができるよう保育に取り組んだ。・子どもたちが主体的に遊ぶ事ができるよう、興味関心を刺激するような環境作りを工夫した。
子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none">・子どもの要求や訴えに対して気持ちを受け止め、状況に応じた適切な対応を心がけた。・身体を使った様々な表現遊びを積極的に取り入れていきたい。
保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none">・子どもが頑張っていた事、夢中になっていた事など保育園での様子を伝え、その成長を共に喜ぶ事で安心して預けられる環境を整えた。・コミュニケーションでは、傾聴を心がけ保護者の気持ちに寄り添い共感する事を大切にした。
保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none">・園内外での研修で学んだ事を報告し合い、日々の保育に取り入れる事で保育の質を高めるようにした。・ミーティングや会議を充実させる事で、保育を見つめ直すと共に共通理解に繋がった。

総評
<p>子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、ありのままの姿を認め受け入れる事で、心が安定するよう保育をした。次年度も引き続き子どもの思いを大切に、安心して自分を出せる環境作りや、安全性に十分配慮した上で興味関心のある事を自由に経験できる環境作りに取り組んでいきたい。</p> <p>また、JA様との連携を密にし、野菜作りなどの特色を生かした園独自の食育活動をおこなっていく。</p>